

令和7年度 二葉小学校グランドデザイン

学習指導要領

教育目標

たくましく生きる二葉っ子

新発田市
学校教育の重点

重点目標 ふるさと(新発田)が好きで、夢や希望に向かって学び続ける子

<知の育ち> 主体的に学習に取り組む子

- 問いやめあてをもち、その解決や達成のために進んで取り組む子
- 授業が「分かる」、「楽しさ」を実感する子
- 考えを伝えようとして、他者の考えを生かそうとしたりする子

<徳の育ち> 自他を尊重し大切にできる子

- かかわりながら、自他を認め合う子
- いじめをしない・許さない・見逃がさない子

<体の育ち> 心身の健康管理ができる子

- 自分の課題を見つけ、さらなる体力向上に取り組む子
- 食に関心をもち、健康管理ができる子

成果目標

- ①「めあての達成や課題の解決に向かって学習していたか」という質問項目に、「とてもあてはまる」と答える児童が、全体の75%以上にする。
- ②「友達の意見や説明を聞いて考えたり、それを生かしたりして学習していたか」という質問項目に、「とてもあてはまる」と答える児童が、全体の80%以上にする。

成果目標

- ①友達に温かいメッセージを伝えることができる児童を90%以上にする。
- ②いじめをしない・いじめに気付いたら相談することができた児童を90%以上にする。

成果目標

- ①体力テストの1回目(6月)の結果より2回目(10月)の方が記録を上回した児童の割合が全校で75%以上にする。
- ②児童アンケートで「給食で赤・黄・緑の食品をそろえて食べるようにした」と答えた児童を、学校全体で75%以上にする。

【教育活動】

- ⑦「めあてもしくは課題」と「まとめもしくはふりかえり」の両方がそろった授業を行う。
- ④児童のあこがれや困り感、疑問等から「めあてもしくは学習課題」を設定する授業を行う。
- ⑤協働的な活動や自他の考えの説明活動したり、それを生かす個の活動を組み合わせたりする授業を行う。
- ⑥協働的な活動を行う際に、思考ツールを活用した授業を行う。

【運営活動】

- A) 授業づくりに関する全体研修を年度初めに実施する。
- B) 実践を基にした、課題設定や協働的な活動等の校内研修を年度途中に実施する。
- C) 指導案検討と公開授業、協議会を組み合わせた研修を、一人1回以上行う。

【教育活動】

- ①学年(学級)での取組や縦割り班活動に臨む際のかかわり方(相手のがんばりを見つける、ありがたの気持ちを伝える、協力し合う等)のめあてをもたせる働き掛けをする。
- ②道徳、人権教育、同和教育で、自他を尊重する人権に関する授業を学期に1回以上行う。

【運営活動】

- ①めあてをもたせるために、生活のめあてカード(振り返り表)・縦割り班カードを提示したり、温かいメッセージ(ありがたやよさを伝える言葉)のより効果的な伝え方について提示したりする。

【教育活動】

- ①研修を基に、2学期の授業で体力向上のための授業を行う。
- ②給食指導に給食資料を用いて、三色を意識して食べるよう月に一度以上指導する。

【運営活動】

- ①体力テストの結果を分析し、職員研修を行う。
- ②給食資料を毎月作成する。

二葉小の特色ある教育

「自分が『大切にされている』ことが実感できる」教育活動の充実

ルールの守られた

安心・安全な学校(学級)

- ・人の嫌がることは言わない、しない
- ・相手の話は最後まで静かに聞く

- 子どもを「分かろうとする」教職員
- 子どもの困り感に寄り添い、話を「聴く」教職員
- 子どもとともに考え、子どもの自己決定を促す教職員

- 子どものリソース(できていること、もっているもの、成長、がんばり)を見付け、さらに伸ばす教職員
- 子どもの未来を考え、成長への期待を込めて、適切に指導する教職員

リレーションあふれる学校(学級)

- ・認め合う、助け合う
- ・学校(学級)に必要なとされている実感
- ・「貢献」できる喜び

自分事として考える

人権教育、同和教育の充実

自分の弱さに目を背けることなく本音で語り

- ・道徳科授業における生命尊重につながる「かけがえのない 自他の存在を大切にできる」生活同和学习の充実
- ・人間尊重について学ぶ社会同和学习の推進

地域との連携・協働

二葉ネット

ふるさとへの愛着と誇りを育む「しばたの心継承プロジェクト」

- ・新発田のよさやそこに携わる人の思いを知り、それらを大切に、かかわろうとする心や態度の育成

食に関する教育の充実

- ・バランスよく健全な食生活について学ぶ「食育」の推進
- ・自らの健康の大切さを知り、望ましい食事習慣の形成

防災教育の充実

- ・自然とのかかわり方やいのちの守り方を学ぶ「防災教育」の推進
- ・防災に関する組織活動の整備・充実

安全対策の推進

- ・学校生活や登下校、地域社会での安全確保と事故防止の指導を徹底
- ・地域安全ボランティアとの連携・協働
- ・地域安全マップをもとにした、「入りやすく見えにくい」場所の発信

- 地域の人材や団体、企業、NPO、行政等と連携・協働した教育活動の展開
- 保護者・地域・学校評議員による学校評価と公開
- 学校・学年・生活・保健たより、ホームページ等による情報提供